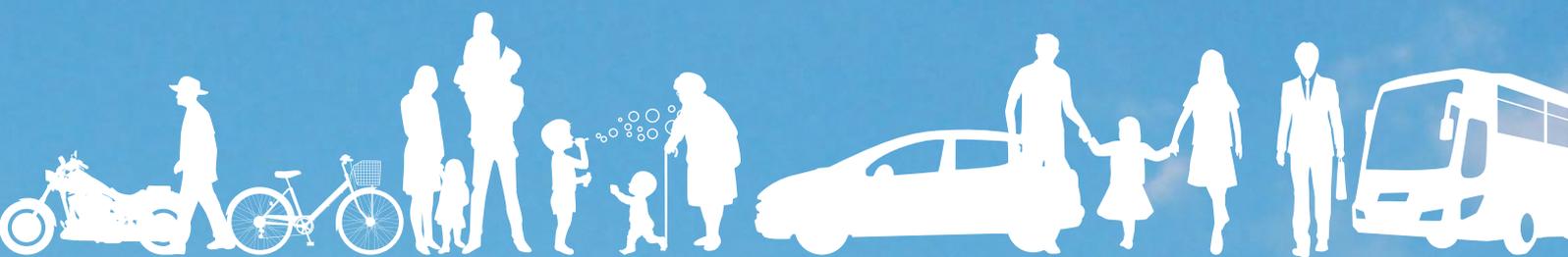


枚方市総合交通計画

— 概要版 —

平成30年12月



はじめに

人口減少、超高齢社会の到来、地球環境問題の深刻化、経済成長の停滞、厳しい経済的制約など、枚方市においてもこれまで経験したことがない社会状況を迎え、これからの都市づくりの方向性は、都市機能を集約し、公共交通のネットワークでそれらの集約拠点を有機的に連携させる都市構造の実現が求められています。そのような中、このたび枚方市の総合的な交通施策の方向性を示す戦略的計画として、新たに「枚方市総合交通計画」を策定いたしました。



交通に関わる施策は、健康、福祉、教育、環境、産業、まちの賑わいなどの様々な行政分野に大きく影響します。これまでの自動車交通を中心とした道路網の整備計画や渋滞対策などの交通利便性に重きを置いた考え方から、ひとを中心とし地域社会全体で捉えた交通環境をいかに向上させていくかを、ひと、企業、行政のそれぞれが知恵を出し合いながら考えていくことが求められています。

日常生活においても過度にマイカーに頼ることなく、徒歩、自転車で快適に暮らせる生活環境や、バス、鉄道、タクシーなどの公共交通を最大限利用する効率的な集約型都市構造のまちを目指し、これから予測される様々な社会的要請や課題などに対応してまいりたいと考えております。

最後に本計画の策定にあたり、お力添えをいただきました枚方市総合交通計画協議会委員の皆様をはじめ、関係者の皆様に心から感謝申し上げます。

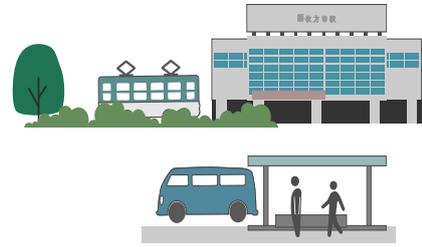
2018年12月

枚方市長

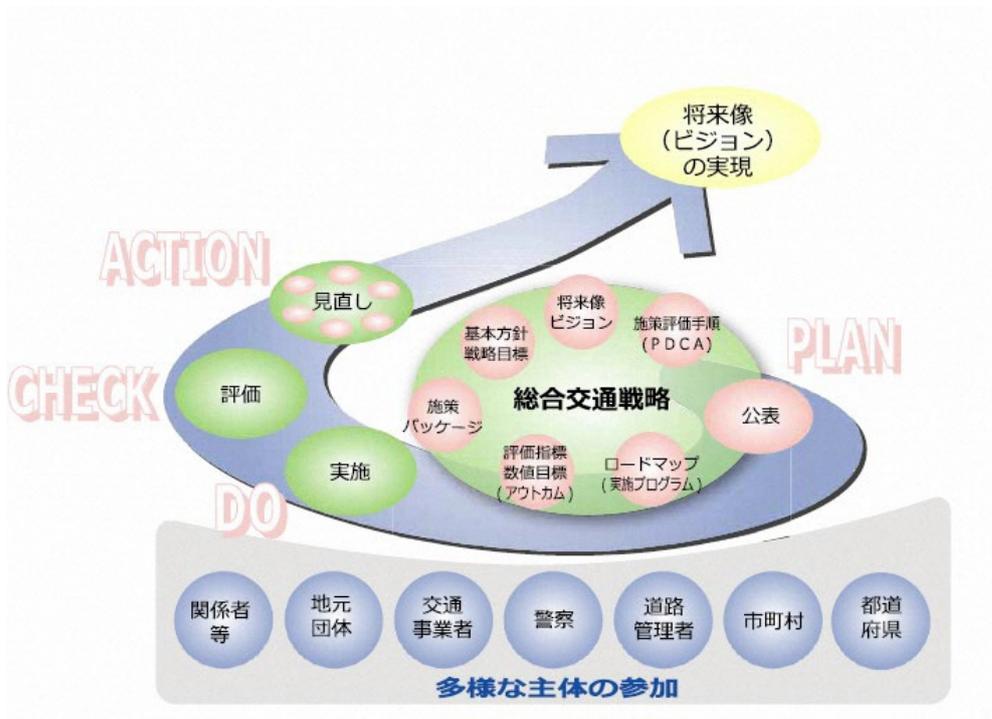
伏見隆

1. 総合交通計画とは

近年、人口減少、超高齢社会の到来、地球環境問題の深刻化、経済成長の停滞、厳しい財政的制約など、全国的にもこれまでに経験したことのない社会状況を迎えています。そのような中において、各地域における都市づくりの方向性は、都市機能を集約するとともに、公共交通ネットワークでその集約拠点を有機的に連携させるという「集約型都市構造」の実現が求められています。



枚方市総合交通計画では、そのような社会状況としっかり向き合いながら、魅力ある都市の将来像実現のために、必要となる都市交通環境を構築するための総合的、かつ一体的な施策展開の取り組みを示すものです。



出典：国土交通省 都市局資料

背景と目的

平成 9(1997)年に枚方市では、慢性的な交通渋滞などの課題に対応すべく、総合的な観点から市の交通体系の方向性を示す「枚方市総合交通体系報告書」を策定しました。その後 20 年が経過する中、社会状況の変化や本市を取り巻く交通環境も大きく変化したため、将来都市像を見据えた新たな交通政策の立案が必要であり、交通とまちづくりが連携した総合かつ戦略的な交通施策の推進が図られるよう「枚方市総合交通計画」を策定します。

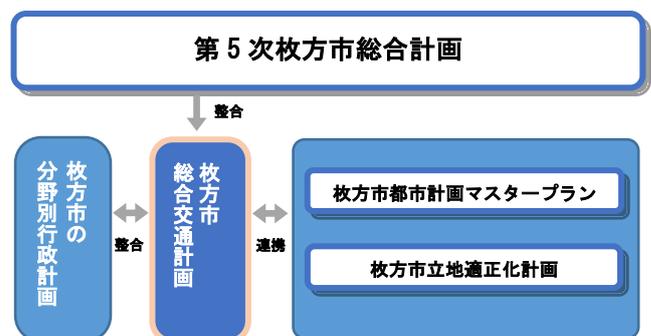
対象区域と目標年次

- ・ 枚方市総合交通計画は枚方市全域を対象としています。
- ・ 平成 31(2019)年度から概ね 20 年後の将来都市像を視野に入れて、10 年後までに実現させていく総合的な交通計画を定めています。



総合交通計画の位置付け

「第 5 次枚方市総合計画」、「枚方市都市計画マスタープラン」及び「枚方市立地適正化計画」と連携し、枚方市の関連する分野の行政計画とも整合を図り策定します。



2. 交通まちづくりの課題と基本方針

市域における交通の現状把握、市民アンケート調査、交通まちづくりワークショップなどから、枚方市における交通まちづくりの課題整理を行い、以下の5つの項目に取りまとめ3つの基本方針を定めました。

<交通まちづくりの課題整理>

①持続可能な公共交通の実現

(1)公共交通の維持

- ・多様な主体が連携し、公共交通を維持することで移動しやすく活力ある都市を維持する
- ・身の回りの交通に関心を持ち、協働による交通まちづくりを推進する

(2)移動環境の整備

- ・外出機会を増やし、健康増進や生活利便性の向上を図る

②交通が与える環境負荷の低減

- ・地球環境にやさしい低炭素社会を推進する

③賑わいあふれる駅前空間の構築

- ・通過交通の流入を抑制し、賑わいとゆとりある交通環境の整備を推進する
- ・バリアフリー化を推進し、移動の円滑化や回遊性の向上を図る

④快適な生活道路環境の実現

- ・誰もが安全・安心・快適に移動できる移動環境の整備を推進する
- ・地域に合った道路空間の配分により、移動の安全性、利便性の向上を図る。
- ・交通ルールを守る意識の向上を図る

⑤機能的な道路ネットワークの構築

- ・広域ネットワークの構築により、交流拡大、経済・産業発展、防災機能強化による安全性の向上を図る
- ・局所的な渋滞緩和対策や、市内交通の連携強化を推進する
- ・道路の適切な維持管理などにより、ネットワーク機能や安全性を維持する

<基本方針>

基本方針 1

みんなで考えささえる交通まちづくりの推進



基本方針 2

誰もが出かけたいくなる交通環境の実現



基本方針 3

未来へとつながる交通基盤と生活環境の構築



3. こんな交通まちづくりを目指します

将来にわたって、「誰もが暮らしやすいまち」や「賑わいあふれるまち」を実現していくために、生活を支えている交通をまちづくりの視点として捉え、以下のように取り組みます。

理 念

ひと・企業・行政が力を合わせて 夢と希望を育む 交通まちづくり

一人ひとり、またはそれぞれの主体が、多少の不便や負担を分かち合いながら、今ある資源を有効に活用するなど、自分にできることを考え、行動することの大切さを認識し、都市や地域の交通環境を私たち自身で考え、育て、維持していくよう、まちづくりを交通面からしっかりと支えていきます。



基本方針

1. みんなで考えささえる交通まちづくりの推進

望ましい都市像を実現するため、市民が自らの移動について社会における在り方を考え、また交通に携わる各関係機関や事業者はその社会的責任のもと、「交通まちづくり」を展望・実践していきます。

2. 誰もがおでかけしたくなる交通環境の実現

誰もが気軽に移動しやすい環境を実現するため、健康と賑わいの都市空間を交通からデザインアプローチしていきます。

3. 未来へとつながる交通基盤と生活環境の構築

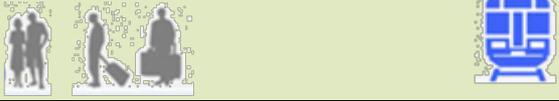
私たちにとっての快適な生活を実現するため、交通基盤と生活環境を着実に構築していきます。



4. パッケージで取り組む交通まちづくり

交通まちづくりを効果的に推進するため、複数の施策をパッケージ化し施策間で連携した取り組みを進めます。計画では、理念と3つの基本方針を具体化する5つのパッケージを設定し、複数の実施主体による連携した取り組みを進めていきます。

【5つのパッケージの目標】

【共通施策】 現況把握や将来推計のためのデータの整備と分析 (可視化資料の共有化)		
基本方針1 みんなで考えささえる交通まちづくりの推進		
施策パッケージ① 持続可能な公共交通の実現		
<p>バス路線の縮小などが進まないよう、利用者数を維持、増加させることで公共交通を維持します。</p> 	<p>それぞれの状況に合った交通手段の確保と、高齢者、障がい者などが移動しやすい環境整備を目指します。</p> 	<p>地域交通の確保により、外出機会を増やし、健康増進や生活利便性の向上を図るとともに外出することでまちの活性化を図ります。</p> 
施策パッケージ② 交通が与える環境負荷の低減		
<p>公共交通や徒歩、自転車などの多様な交通手段の利用を促進するとともに、環境に配慮した都市づくりを目指します。</p>		
基本方針2 誰もがおでかけしたくなる交通環境の実現		
施策パッケージ③ 賑わいあふれる駅前空間の構築		
<p>枚方市駅周辺が魅力ある空間となるよう交通環境の整備を推進し、交流人口の増加、外出促進を図ります。</p> 	<p>市内各駅周辺において、誰もが歩きやすい道づくりを進めます。</p> 	
施策パッケージ④ 快適な生活道路環境の実現		
<p>地域の安全性や利便性を高め、生活道路が安全・安心快適な道路空間となるよう整備を図ります。</p>		
基本方針3 未来へとつながる交通基盤と生活環境の構築		
施策パッケージ⑤ 機能的な道路ネットワークの構築		
<p>広域ネットワークの構築を図り、活力ある地域社会を実現します。また、市内の交通を円滑にし、周辺都市などとの相互交流を図る道路整備を進めます。</p>	<p>災害時の防災機能強化を図ります。</p> 	<p>効率的、効果的な道路の維持管理を図ります。</p>

5. 各施策パッケージの概要

【共通施策】現況把握や将来推計のためのデータの整備と分析

●施策の目標

- 枚方市における交通に関する資料、データなどをひと・企業、交通事業者などの協力のもとで収集、公表することで、交通に関する意識の醸成、交通施策への参画などを促進します。

●内容

- 交通に関する可視化資料の共有化

基本方針1

みんなで考えささえる交通まちづくりの推進

施策パッケージ① 持続可能な公共交通の実現

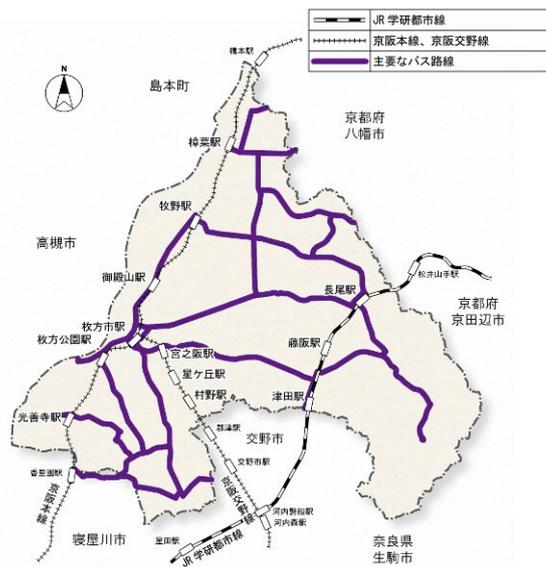
1-①-I 【主要戦略施策】バス路線の確保・維持・改善

●施策の目標

- 公共交通を維持していくために、より効率的なバスの運行を進めます。
- 公共交通を維持していくために、公共交通の利用を促進します。

●内容

- 路線バスの再編
- 公共交通の利用促進のためのモビリティ・マネジメント



枚方市立地適正化計画

【市内公共交通将来ネットワーク図】

施策1-①-II 公共交通のサービス向上



【バス待ち環境の改善（堺市）】

●施策の目標

- 公共交通を使いやすく、また使いたくなるよう、公共交通利用環境の改善を図ります。

●内容

- 公共交通環境整備

施策 1-①-Ⅲ 移動や外出の促進

●施策の目標

- 高齢者や障がい者など、誰もが移動しやすい環境を整えることで外出の機会の増加による健康増進や生活利便性の向上を図ります。
- それぞれの地域に合った交通サービスについて地域の主体性を尊重し、ともに検討します。
- 外出を促進することで、まちの活性化を図ります。



【民間事業者による高齢者無料送迎サイクル】
(香里地区)

●内容

- 多様な交通手段の確保

施策パッケージ② 交通が与える環境負荷の低減

1-②-Ⅰ 環境にやさしい公共交通などの利用促進



NPO 法人 ひらかた環境ネットワーク会議、枚方市
【ひらかた交通タウンマップ】

●施策の目標

- 地球環境にやさしい低炭素交通や持続可能な交通まちづくりの実現を目指し、自家用車に頼りすぎず、公共交通や徒歩、自転車などの多様な交通手段の利用を促進します。

●内容

- 環境に配慮した行動促進

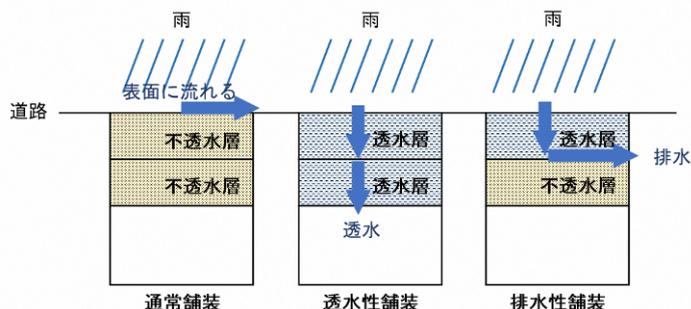
1-②-Ⅱ 環境に配慮した都市の構築

●施策の目標

- 環境負荷の少ない低公害車の導入や道路整備時における環境に配慮した技術の導入などを推進します。

●内容

- 環境に配慮した都市の構築



【透水性・排水性舗装】

基本方針 2

誰もがおでかけしたくなる交通環境の実現

施策パッケージ③ 賑わいあふれる駅前空間の構築

2-③-I 【主要戦略施策】 駅周辺の回遊性と賑わい、愛着がもてる交通環境整備

● 施策の目標

- 地域全体を総合的に捉え、地域に関わる人々が、魅力あふれる賑わいのあるまちの構築を目指し、市域の都市拠点となる駅周辺において、通過交通の抑制による駅前広場の交通混雑解消や、回遊性があり誰もが移動しやすく、ゆとりある駅前空間の創出を図ります。

● 内容

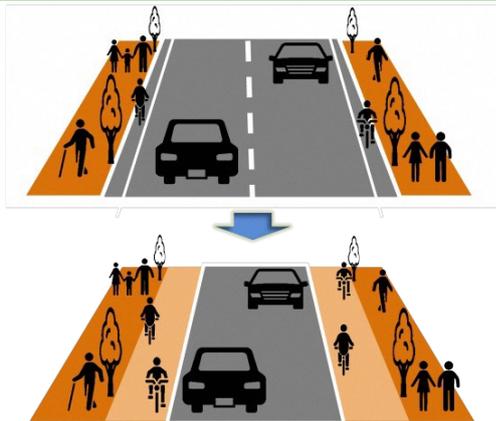
- 枚方市駅周辺再整備ビジョンの実現
- 駅前広場の交通環境改善
- 駅および駅周辺道路環境整備



枚方市駅周辺再整備ビジョン
【駅周辺の整備イメージ】

施策パッケージ④ 快適な生活道路環境の実現

2-④-I 歩行空間や自転車通行空間の確保



【住宅地における道路空間再配分のイメージ】

● 施策の目標

- 現状の道路幅員の中で、歩行空間や自転車通行空間を確保するなど、地域に合った移動環境の改善を進めます。

● 内容

- 道路空間の再配分
- 歩行空間・自転車通行空間整備

2-④-II 安全で安心な交通環境の整備

● 施策の目標

- 生活道路における安全対策や誰もが移動しやすい快適な道路整備、また外出を促進するような、歩きやすい道路環境の整備を進めます。
- 国、大阪府、警察などとともに、交通安全講習会など様々な機会を通して、交通ルールを周知し、マナーの向上を図ることで、交通の安全性の向上に努めます。

● 内容

- 生活道路の交通環境整備
- 交通安全環境の向上

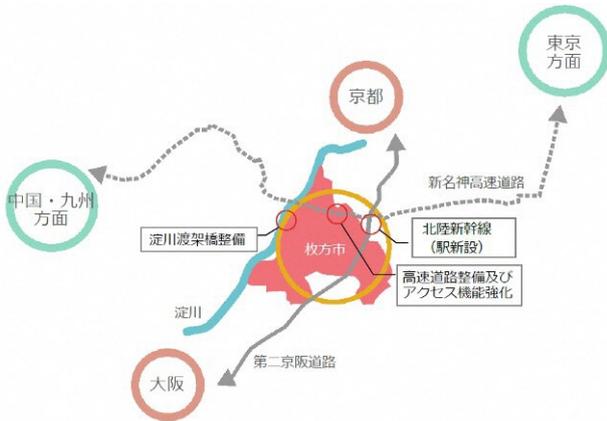


土井勉 撮影

【ゾーン 30 事例（東京都千代田区）】

施策パッケージ⑤ 機能的な道路ネットワークの構築

3-⑤-I 広域ネットワークの強化



【広域交通ネットワーク機能強化のイメージ】

● 施策の目標

- 広域幹線道路の整備や、アクセス機能強化、近隣都市間交流に資する道路整備を促進し、広域連携の強化による交流人口の拡大や経済・産業の持続的発展、災害発生時の防災機能強化を図ります。

● 内容

- 高速道路整備
- 淀川渡架橋整備
- 淀川舟運事業

3-⑤-II 【主要戦略施策】 渋滞緩和対策など、市内交通の連携強化

● 施策の目標

- 市内交通の渋滞緩和及び生活道路に流入する通過交通抑制、市内交通の円滑化による都市間及び市内交流の拡大による市内経済、産業の発展を図るため、都市計画道路などの整備を推進します。

● 内容

- 市内幹線道路の整備
- 市内交通強化



3-⑤-III 道路施設の適切な維持管理

● 施策の目標

- 交通ネットワーク機能や安全性を適切に維持していくため、予防保全型管理を基本とする長寿命化計画などにに基づき計画的に維持管理を行います。

● 内容

- 道路の計画的な更新・改修・耐震化

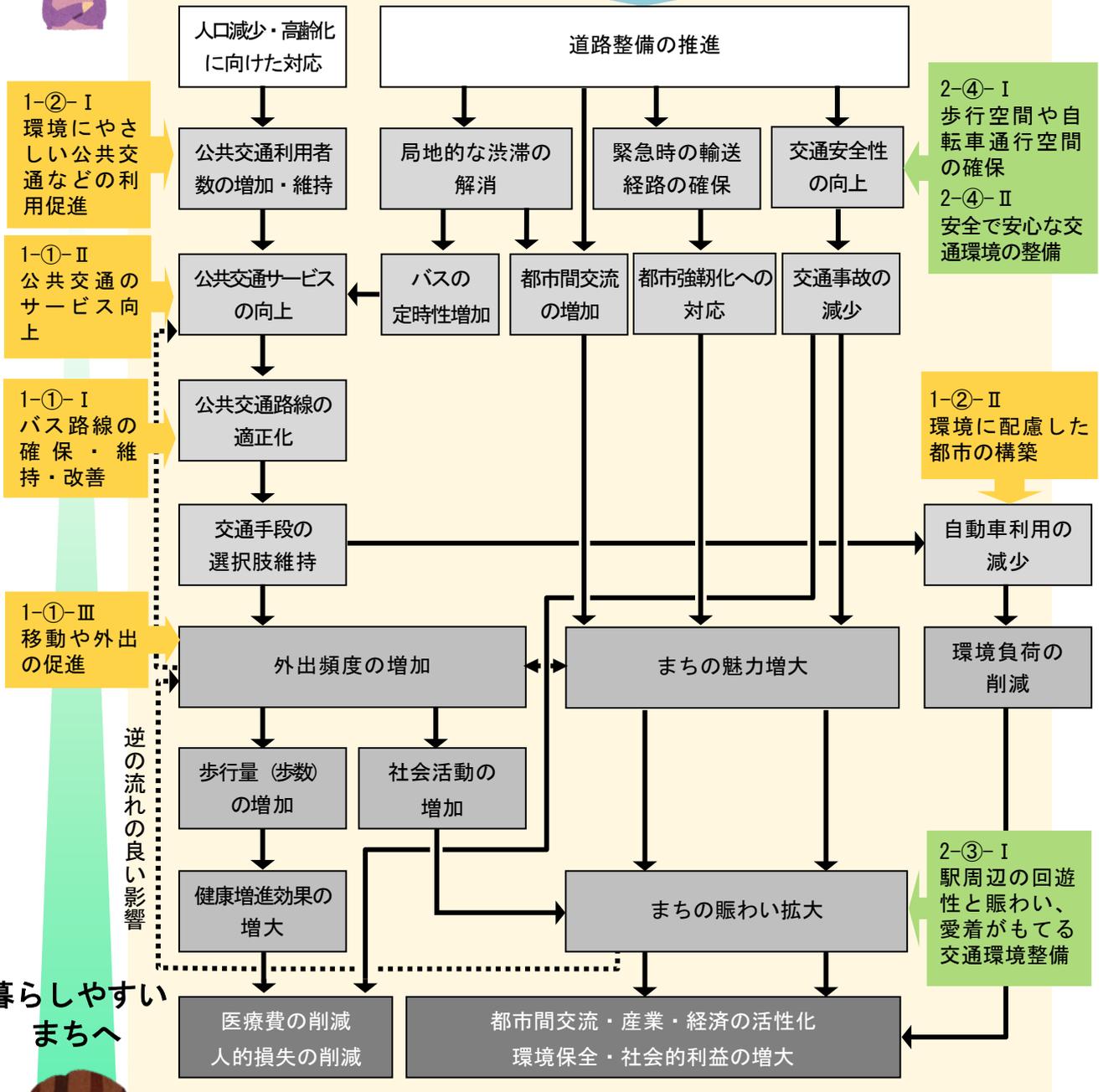
【都市計画道路などの整備図】

交通施策の実施による私たちの暮らしへの影響



交通計画を推進すると、どんなまちになるの？

- 3-⑤-I 広域ネットワークの強化
- 3-⑤-II 渋滞緩和対策など、市内交通の連携強化
- 3-⑤-III 道路施設の適切な維持管理



1-②-I 環境にやさしい公共交通などの利用促進

1-①-II 公共交通のサービス向上

1-①-I バス路線の確保・維持・改善

1-①-III 移動や外出の促進

逆の流れの良い影響

2-④-I 歩行空間や自転車通行空間の確保
2-④-II 安全で安心な交通環境の整備

1-②-II 環境に配慮した都市の構築

2-③-I 駅周辺の回遊性と賑わい、愛着がもてる交通環境整備

暮らしやすいまちへ



施策を実施することで暮らしやすいまちになるのね。

凡例

1-①-I バス路線の確保・維持・改善

関連する施策

6. 交通まちづくりを推進します

■施策の評価

交通計画の基本目標を効果的に実現するために、交通計画全体に係る指標と3つの基本方針毎の指標を設定し、評価時点において把握可能な最新の数値によって評価を行います。

全体

- 公共交通機関が整っているなど都市機能が充実していると感じている市民の割合
- 外出率
- 交通に関する情報発信

基本方針1 みんなで考えささえる交通まちづくりの推進

施策パッケージ ①持続可能な公共交通の実現

- アクセシビリティ（最寄りの公共交通の利用しやすさ）
- 鉄道駅利用者の市域人口に対する割合
- 京阪バス主要停留所乗降客数の市域人口に対する割合



施策パッケージ ②交通が与える環境負荷の低減

- 公共交通利用促進啓発イベントの参加者数
- 市域から排出される運輸部門の温室効果ガス排出量



基本方針2 誰もがお出かけしたくなる交通環境の実現

施策パッケージ ③賑わいあふれる駅前空間の構築

- 枚方市駅周辺が賑わい、魅力あふれる中心市街地であると感じている市民の割合
- 枚方市駅利用者の市域人口に対する割合
- 樟葉駅利用者の市域人口に対する割合



施策パッケージ ④快適な生活道路環境の実現

- 安全で快適な道路環境が整っていると感じている市民の割合
- 歩道の設置延長距離
- 1人平均歩数
- 交通事故件数（歩行者・自転車）
- 交通事故件数（車両）
- 交通安全に関する啓発イベント・教室講習などの参加者数



基本方針3 未来へとつながる交通基盤と生活環境の構築

施策パッケージ ⑤機能的な道路ネットワークの構築

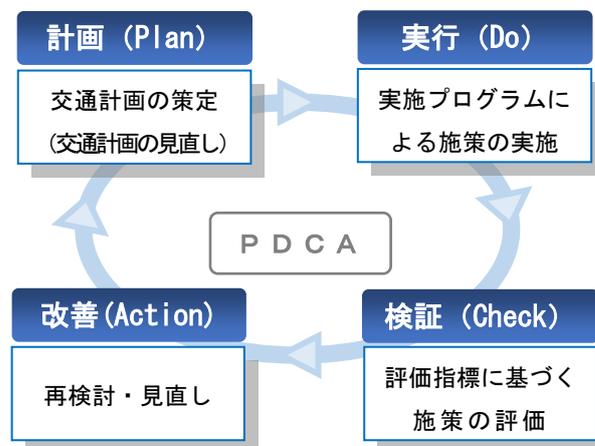
- 都市計画道路の整備率
- 幹線道路の整備率（国道、府道含む）



■推進管理体制

(1) PDCAサイクルによる施策の推進

交通計画は、社会情勢の変化に対応しながら、適宜、変更を行います。そのために、庁内の進行管理体制を適切に構築し、また、交通事業者、道路管理者などの関連する主体とともに進捗状況を確認し合いながら管理を行います。



(2) 推進管理・評価の方法

①推進管理・評価の方法

- 定期的な進捗状況の確認

施策の進捗状況や評価指標の達成状況を毎年度確認し、交通計画の着実な推進を図ります。

- 交通計画の見直し

社会情勢の変化と施策の推進状況などに合わせ、必要に応じて柔軟に見直しを図りながら進めていきます。

- 関連する事業内容の検討と評価

実施プログラムに基づき、交通計画目標の実現を着実に図っていくため、関連する事業内容の検討を行うとともに、目標への達成度を把握・評価していきます。

- 情報発信

施策の進捗状況、評価指標の達成状況などについて広く情報発信を行うことで、交通計画に対する市民の理解を得るとともに、施策への市民の協力や参画を促します。

②進捗管理・評価するための組織

名称	目的	構成
(仮称) 枚方市総合交通計画推進委員会	・事業主体ごとの施策進捗状況確認	・庁内関係部署
(仮称) 枚方市総合交通計画推進協議会	・交通計画の見直し など	・学識経験者 ・行政 ・交通事業者 ・道路管理者 ・交通管理者 ・市民 ・商業関係団体など

発行年月	平成 30 年(2018 年)12 月
発行	枚方市 〒573-8666 枚方市大垣内町 2 丁目 1 番 20 号 TEL 072-841-1221(代表)
編集	土木部土木政策課

